

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 調査報告概要表

作成日 平成20年2月12日

【評価実施概要】

事業所番号	174701037
法人名	医療法人 前田クリニック
事業所名	グループホーム うらら
所在地	北海道上川郡清水町南1条3丁目20-1番地 (電話) 0156-69-1177

評価機関名	(有)NAVIRE
所在地	北見市本町5丁目2-38
訪問調査日	平成20年1月31日

【情報提供票より】(19年12月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 18 年 4 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤 4人, 非常勤 5人, 常勤換算 9人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート造り	
	2階建ての	1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,000 円	その他の経費(月額)	水光熱費15,000 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,000 円			

(4) 利用者の概要(12月1日現在)

利用者人数	9名	男性	0名	女性	9名
要介護1	2名	要介護2		2名	
要介護3	5名	要介護4		0名	
要介護5	0名	要支援2		0名	
年齢	平均 86歳	最低	67歳	最高	97歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	前田クリニック・サホロクリニック・大江病院・木村歯科医院・板橋歯科医院
---------	-------------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホームうららは清水町中心部に位置しており、1階がグループホームの1ユニット、2階はシルバーハウスになっています。行事では利用者同士の交流を図っています。通りを挟んで運営母体の病院があり、利用者の健康面で不安がある場合や、体調の急変時には対応する取組みが来ています。利用者の外出支援として商店へ買い物に出かけたり、公園へ散歩に出掛けるなどの支援がされています。畑作りや花壇での花の世話をしながら近隣住民と交流をしており、また週に2~3度音楽クラブを開きカラオケを中心に、歌を唄ったりリズム体操を行ったり機能の維持向上に努めています。廊下幅は広く車椅子が余裕をもって交差出来ますし居室も10畳と規定より広く取ってあり洗面台も設置しています。利用者と職員が互いに共鳴し合い、喜怒哀楽を自由に表現しながら、地域の中で自分らしく生活することを理念としているホームとなっています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>外部評価で指摘を受けた事項については、改善に向け取り組みがなされています。刃物や洗剤等の管理については、保管場所の変更や事務所預かりの対応を取っており、水分や食事量については利用者全員の記録を取る事で改善しています。研修については会議の時に報告会を開き、スキルアップと情報の共有を図っています。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>全職員が自己評価を実施する意義について理解しており、職員一人ひとりが全項目について記入し管理者が取りまとめています。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>昨年4月と7月に会議が開かれています。保険者代表、地域包括支援センター職員、地域代表、民生委員、家族会代表等で構成されています。ホーム側より状況報告、外部評価の公表と改善状況、行事の取組みと予定等について説明がされています。構成メンバーから、日々の生活の中で少しずつ地域と交流を深めていくと良いとアドバイスを受けています。会議の際ホームの見学を行い、アンケートをとってサービスの向上に努めています。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>年2回ホームの行事に合わせて家族会を開き、利用者の状況報告と一緒に食事会が行なわれています。運営推進会議の内容も報告されています。遠方の家族には、日々の様子を書いた手紙や電話をその都度報告し、意見や要望苦情を言える関係を築いています。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町内会自体の活動はあまり活発ではありませんが、中学校の体験学習を受け入れたり、運営母体の病院がサポートクラブとして定期的に町の施設で町民に向けて認知症の学習会や、自宅で出来る介護法(移乗等)等のテーマで活動を通して理解と連携を図っています。</p>

(有)NAVIRE

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開設当初から、利用者を主人公として尊重し柔軟な気持ちと行動でスタッフが、お互いに共鳴し合い喜怒哀楽を表現して地域の中で生活をする独自の理念と、明るく穏やかで心のどかさを感じられる生活から、うららの由来になっています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員は常に理念を意識して利用者に支援をする事を心掛けており、申し送り会議や月1回の全体ミーティングでも理念を振り返り取り組んでいます。 玄関や事務室に掲示しています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入し祭りや敬老会等に参加をしています。ただ町内会としての行事はあまり無い様ですが、道路清掃や花壇の手入れ、道路に滑り止めの砂まきをするなど、地域に貢献しています。	○	ホームとして発行している季刊誌うれし泣きを町内会に回覧をするなどして地域への理解を深める工夫を期待します。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員全員に自己評価表を渡し検討した後に、全体ミーティングで管理者と共に取りまとめています。 前回の外部評価についても全体ミーティングで検討し改善点を見直ししています。 結果をホーム内に開示し家族にも報告をしています。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議のメンバーに、町保健福祉課担当者・ケアマネージャー兼看護師・地域の代表者・民生委員・家族会代表・施設長・管理者で構成されており、ホームでの報告と意義及び意見要望苦情等を話し合い、議事録は欠席者に渡しています。	○	平成19年は、4月7月の2回開催されていますが、3回目はスケジュールの都合が合わず延期になっていますが、年明けに開催予定です。情報の共有という観点から議事録は出席者及び家族全員に渡して、理解を得る事を望みます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>町職員の管理栄養士より献立の参考としてアドバイスをもらったり研修等の相談や指導を受けたり、連携を密に取っています。中学生が5人位体験学習として訪問しインタビューや交流をしています。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>殆どの家族は、地元にいる方なので面会時に利用者の日常の様子や金銭管理の報告をしています。また遠方の家族には電話で通院結果や日常の様子をその都度報告しています。</p>		
8	15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関に意見箱を設置していますが利用はされておらず、殆どの家族が週1回程度訪問し、面会時に相談や苦情を言える関係が築かれ、報告書にまとめ情報を共有しています。</p>		
9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動はなく離職者も僅かで、管理者は働きやすい職場づくりを目指しており、主任がスーパーバイザーとして職員の悩みやストレスの軽減に取り組んでいます。</p>		
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>最低年1回の研修の参加を目標に、希望する研修があれば参加出来るよう配慮しています。建物2階の高齢者下宿の職員もグループホームでの内部研修に参加しています。</p>		
11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>町内の特別養護老人ホームと併設のグループホームの行事に招待をされたり、また来てもらったり職員だけでなく利用者同士も交流しています。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	開設当初からサービスを利用する前提での体験入所や在宅への訪問、事業者のクリニックへの利用を繰り返し馴染みの関係を築ける様心掛けています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者から料理や畑仕事の事を学んだり、言葉や顔の表情から汲取り共に支えあう関係を築いています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の生活の中で利用者の希望を尊重し記録をしてチームで検討しています。音楽クラブと称して週に2・3回の歌と体操を実施していますが、利用者の生き生きとした表情が現れています。		
を					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	家族と共に利用者の現在の状況を伝え、計画作成者が中心となって職員全体の意見をまとめQOLの維持向上を心掛けて家族の了承を得ています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月ごとに介護計画を見直しており、その都度状況に変化があった場合は、迅速に検討し対応をしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	病院への通院介助や送迎支援をしています。散歩や買物などの外出支援も行っています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	医療法人が開設している為入居以前よりかかりつけ医になっており、利用者の健康状態を把握しています。週に1回往診をしています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化・終末期の対応に向けて研修会に参加し、マニュアルの作成に向けて整備しています。入居開始時には家族主治医管理者含め話し合いが来ています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者への声掛け時の大きさや発言に気を付けているほか、個人のケアファイルの記入や管理についても事務室カウンターでする等個人情報に気を付けています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の気持ちを尊重し、生活リズムに合わせて柔軟な対応を取る様心掛けています。花火大会やクリスマスに家族も一緒に手伝ってもらい楽しんでもらう支援もしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立にも利用者のリクエストを聞いて取り入れた食事を作る工夫や、配膳・後片付けまで役割をもった支援をしています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の希望に沿って毎日入浴している利用者もいますし、夜間入浴もしています。月の行事として町内の温泉施設へ入浴に行っています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	台所の仕事や掃除・洗濯物のタタミなどの家事から歌を歌う、畑仕事や花、熱帯魚の世話まで出来る役割の支援をしています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や買物などの外出支援を行なっています。ドライブへ行ったり花壇や畑等屋外へ出る機会を増やす工夫をしています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間玄関は屋外から中には入れないが、それ以外は自由に出入できます。居間や居室を見渡せる位置に事務室がある為、居室には鍵を付けない支援をしています。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	2階の高齢者下宿も含めて避難訓練及び消火訓練を年1回実施しています。消防職員より結果の講評を受けています。	○	避難訓練は夏季と冬季、日中と夜間の避難が想定される為、年2回の実施と、地域住民にも避難時には協力してもらえる様消火訓練にも参加してもらいよい関係を築く事を望みます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の水分摂取量はケアファイルに記録し共有しています。一人ひとりの状況に応じ食べやすい大きさや硬さに注意して支援をしています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間の窓は南面前面に大きく取りカーテンで光の量を調節したり電気暖房を取り入れ安全に配慮しています。廊下玄関に行事での写真を飾り季節感を取り入れています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	10帖の大きさを作り付けのデスクもある部屋に今まで使っていた家具や写真等を持ち込んで変わらない生活空間を作り出しています。		